

5月13日(月)朝会の話 「歴史は人がつないでいく」

今日は、今週末に行われる三社祭についてお話しします。

三社祭については、千束小に来たばかりの私より、皆さんの方が、良く知っているかもしれませんが、みなでおみこしをかつげるお祭り、楽しみですね。

さて、三社祭ですが、いつから行われているか、知っていますか。

三社祭が始まったのは、1312年と伝えられています。「鎌倉時代」と言われている時代で、今から712年前のことです。

時代が変わって江戸時代になると、当時の絵などが、今に伝えられるようになります。この絵は、江戸時代の三社祭の様子が描かれています。川にお神輿を浮かべているのが、わかりますか。次の絵も、江戸時代のお祭りの様子です。お神輿を担いでいますね。

また、今はお神輿がたくさん出ていますが。江戸時代には、写真のような山車を中心だったそうです。この山車は、江戸時代に作られていて、今でも、お祭りで使っているものです。また、17日に、千束小学校の校庭に来てくれる「びんざさら舞」は、江戸時代にはもう始まっていたそうです。そんな昔から同じ踊りが伝えられているなんて、すごいですね。

さらに時代が変わって、今の三社祭の写真です。

去年の大人神輿です。力強くて格好いいです。

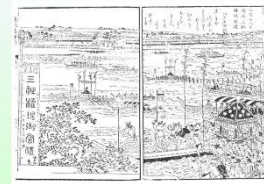
次の写真は、去年の子供みこしです。元気にかついでいます。

さて、江戸時代の絵と、今の三社祭の写真を並べてみました。この4つに共通していること、お神輿があるということ以外に、どんなことがあるでしょうか。

それは、たくさんの方がかかわっているということです。江戸時代から今まででも、400年以上過ぎていますが。最初に始まってから712年というのは、初めにお話ししました。

これだけの長い間、お祭りが伝えられているということは、このお祭りを大事にしたい、伝えたいと思って行動してきたたくさんの方がいるからです。今のお祭りも、たくさんの方が関わって、参加しています。三社祭だけでなく、他の行事も同じです。

江戸時代の三社祭



江戸時代の三社祭

みこしではなく
山車を中心

びんざさら舞



今年の三社祭



去年の子供みこし



ということは、みなさんも、歴史をつなぐ1人になっているということになります。

これから、たくさんの地域の行事があります。歴史をつなぐ1人になって、楽しんでいきましょう。

4つの絵・写真に共通していることは？

たくさんの人が、かかわっているということ

